

事業所名	児童通所支援センター オリーブ 放課後等デイサービス	支援プログラム	作成日：令和8年3月1日
法人（事業所）理念	より質の高い支援を利用者にする努力はもとより、地域に親しまれ信頼される適正、且つ活力のある施設運営に努め感性豊かな施設運営に努めます。		
支援方針	子どもの発達過程や特性に合わせて多職種・関係機関と連携を図りながら日常生活を安心して過ごせるようにすると共に他の児童と関わりを持つことで人との関り、コミュニケーション能力、集団でのルールやマナーを学べる場を提供していきます。また児童が安心して過ごせる居場所を作ったり、保護者が気兼ねなく相談できる場になるよう努めると共にレスパイトケアの役割も担っていきます。		
営業時間	9時00分 から 18時00分 まで	送迎実施の有無	あり
	支援内容		
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 来所時の体調確認(検温・観察)を行い、児童の健康状態の把握に努めていきます。 ● 手洗い、うがい、身だしなみ等の基本的な生活習慣の定着を図っていきます又、活動と休息の切り替えが出来る様支援していきます。利用中に体調変化がある場合には適切な対応(医療機関への受診、保護者への状況の報告など)を行っていきます。 ● 安全教育:交通安全や防災訓練を通じて、日常の安全意識を高めるとともに、活動の機会を捉えて、ロールプレイと実践を行います。 ● 情緒の安定:リラクゼーションや感情コントロールのワークショップで、心の健康も支援します。また落ち着いた環境を模索・設定しながら個人の居場所を作れるように支援していきます。 ● 療育の実施:理学療法士、言語聴覚士などの専門職と、児童福祉分野での保育士・児童指導員などの専門職が協力して、子どもの特性に応じて必要な個別や集団での療育を提供していきます。 ● 生活習慣や生活リズムの形成:食事、排泄、身なりを整える(帰る準備なども含む)等の基本的な生活習慣を形成するために、時間・スケジュール管理などを提示し、生活リズムを身につけられるよう支援していきます。 	
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ● 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上:運動や遊びなどの活動を通じて身体の使い方などを学んだり、日常生活に必要な基本動作の習得、関節の拘縮・変形予防、筋力の維持・強化などの支援を実践していきます。 ● 身体能力の向上:運動を通じて考える力を伸ばし・意思の表出・決定を促していきます。またホルモンバランスを整え抵抗力を高めたりストレス緩和を目的としても実践していきます。 ● 運動の手段:五感や運動感覚を使った遊び、有酸素運動、リズム遊び、バランス感覚、空間認識、心肺機能、リズム感、協調性、手眼運動、他児との協調、考える力等を育み楽しく体を動かしていきます。 ● 感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応:専門職が適切に評価を行い、感覚や認知の特性(感覚の過敏や鈍麻)を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の提案及び支援を行っていきます。 	
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ● スケジュールや手順書などの視覚支援を活用し活動の見通しを持てるように支援していきます。 ● ルールや約束については、具体的かつ簡潔に伝え、状況理解を促していきます。又行動面に課題が見られる場合には環境調整やクールダウンの機会を設けるなど、適切な行動がとれるよう支援していきます。 ● 子どもの発達段階に合わせながら、数や大きさ、重さ、色の違いなどに触れる機会を取り入れ、楽しみながら身につけていけるよう支援していきます。 ● 認知の特性や偏りに配慮しながら、一人ひとりが無理なく情報を整理し、理解出来る様環境面の調整を行います。合わせて、支援者の関わり方を見直し、その子にとってわかりやすい支援となるよう努めていきます。 ● 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの難しさから生じる行動面での困りごとについては、事前に環境を整えるなどの予防的な関りを大切にしています。一人ひとりの特性に寄り添いながら、安心して過ごせる環境を作り、望ましい行動が少しずつ身につけていくよう支援していきます。 	
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ● 言語の形成と活用:具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることにより、体系的な言語の習得や、自発的な発声を促していきます。発音練習や語彙力向上の為の療育を実践し、正しい言葉の使い方を学びます。 ● 受容言語と表出言語の支援:子どもの発達段階に応じた話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行います。 ● 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得:個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、ロールプレイやソーシャルストーリーを実践し、日常会話や社会的な適応力を養います。 ● コミュニケーション手段の活用:子どもの発達段階・平易な表現等に対応するコミュニケーション手段を選定し、環境の理解と意思の伝達ができる機会を積み重ね、関わり方を実施していきます。 ● 読み書き能力の向上のための支援:障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行います。 	
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ● ソーシャルスキルトレーニング:挨拶や自己紹介、感謝や謝罪などの表現を練習しながら、信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を実践していきます。 ● 模倣行動の支援:遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを促していく環境調整並びに関わりを実践していきます。 ● 役割遊びとロールプレイ支援:子どもの発達段階や特性に応じた環境調整を行い、子ども自らが自発的に集団に参加できるように社会性の発達を支援していきます。 ● 協同遊び異年齢との交流:他の児童との遊びや交流を図る事で色々な人間性・社会性を知り、人と人との関わりの中、誰かを「思いやる心」や「敬う気持ち」「尊重し合う気持ち」など豊かな心を育てます。 ● 自己の理解とコントロールのための支援:場面場面での感情を引き出しながら、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるようになるための支援を実践していきます。 ● 自己肯定感の育成:成功体験の共有や日常的に他者を褒める習慣を通じて、自己肯定感を高め、互いの成長を喜び合う機会を提供します。 ● 気持ちを言葉にする:色々な手段を用いて気持ちの発信を促したり、やりたい事とやるべき事との区別をつけることで社会的なルールを守れるように実践していきます。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整 ● 子育て上の課題の聞きとりと必要な助言 ● 子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援 ● 子どもを支援する輪を広げるための橋渡し ● 相談支援専門員との定期的な支援会議や支援計画の調整 ● 関係者・関係機関の連携による支援体制の構築 ● 家族支援に向けて、個別の面談等の実施 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 進学・就職のサポート:就労に向けての職場や進学に向けての情報提供や進学に向けての学校選びに対しての、進学や就職をサポートします。学校や転出に向けて学校・転出先等への情報提供や面談を行いながら、就学や転出をサポートします。 ● サポートネットワークの構築:支援機関との連携を行いながら、継続的なサポートが必要な場合は利用日数や時間等の調整などの環境を整えます。
地域支援・ 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育所等の子育て支援機関との連携(保育所等訪問支援、地域療育支援) ● 医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携 ● 教育機関の関係者等との連携 ● 自立支援協議会等、地域支援の体制の構築のための会議への出席 ● 個別のケース検討のための会議への出席 ● 児童発達支援等に対する理解促進のため、行事参加など地域交流を行っています。 	職員の質の 向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期的な研修と教育:研修やケーススタディを通じて、最新の知識と実践的なスキルを学んでいます。 ● フィードバック:定期的なフィードバックを通じて、多角的な視点から職員の成長を支援しています。 ● 継続的な学びの場の提供:勉強会や研修を通して職員が自主的に学び続ける環境を整えています。 ● 職場環境の改善:週1回時間を作り、働きやすい環境の整備を構築する為に話し合う時間を設け、ワークライフバランスの推進に努めています。 ● 専門職(言語聴覚士・理学療法士・看護師・保育士・児童指導員)がそれぞれの分野で情報交換や勉強会を開き、質の向上を目指しています。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ● 食育活動:季節の野菜等の収穫体験 ● 季節行事:進級を祝う会、夏祭り、デイキャンプ・クッキング、お月見会、ハロウィンパーティー、紅葉ドライブ、クリスマス会、初詣、節分、ひなまつり等の実施 		